

## ビデオ会議に関する意識調査を実施

～ビデオ会議で短縮できる会議時間の平均は23.2分！～

SB C&S 株式会社（以下「SB C&S」）は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりテレワークを導入する企業の急増に伴い、仕事でビデオ会議を利用する機会がある人を対象に「ビデオ会議に関する意識調査」を実施しました。実施した調査結果をお知らせします。

### 【調査結果サマリー】

- テレワークの導入により、影響を受けている業務、第1位は「社内会議（69.5%）」、第2位「社外会議（49.8%）」、第3位「報告・相談（37.8%）」という結果に
- 約8割の人がビデオ会議の利点は「移動時間や交通費が減ること」だと考えている
- ビデオ会議の方が、時間が短縮されると感じる人は約4割で、その短縮時間の平均は23.2分！
- ビデオ会議の普及で無駄な会議が減ったと感じる人が4割以上
- 対面会議とビデオ会議では、重視するポイントが異なるので使い分けが重要
- 約6割がニューノーマル時代に重視されるスキルは「自身の意図を正確に伝えるコミュニケーション力」と回答

### 【調査の背景】

施行から1年以上が経過した「働き方改革関連法案」で進められるテレワークは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、企業がより一層強化しています。テレワークを導入する際に必要となる環境整備の一つにビデオ会議システムがあります。社内会議はもちろん、取引先との打ち合わせなどでも利用することができるため、利用者数は急増しています。

今回、ビデオ会議を利用する人の意識や実態を把握するため、仕事でビデオ会議を利用したことがある20～69歳の男女に対して、ビデオ会議に関する意識調査を行いました。

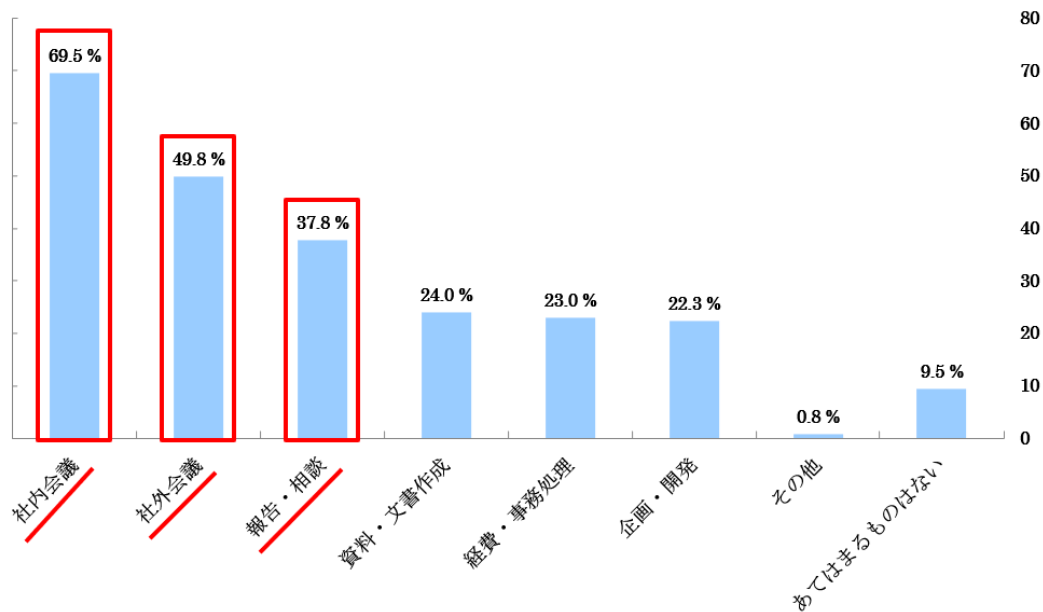
### 【調査概要】

- ・ 調査名：ビデオ会議に関する意識調査
- ・ 調査期間：2020年7月11日～13日
- ・ 調査主体：SB C&S 株式会社
- ・ アンケートモニター提供元：GMO リサーチ株式会社
- ・ 調査対象：20～69歳の仕事でビデオ会議システムを利用する機会がある男女400名

### 【調査結果の詳細】

■テレワークの導入により、影響を受けている業務、第1位は「社内会議（69.5%）」、第2位「社外会議（49.8%）」、第3位「報告・相談（37.8%）」

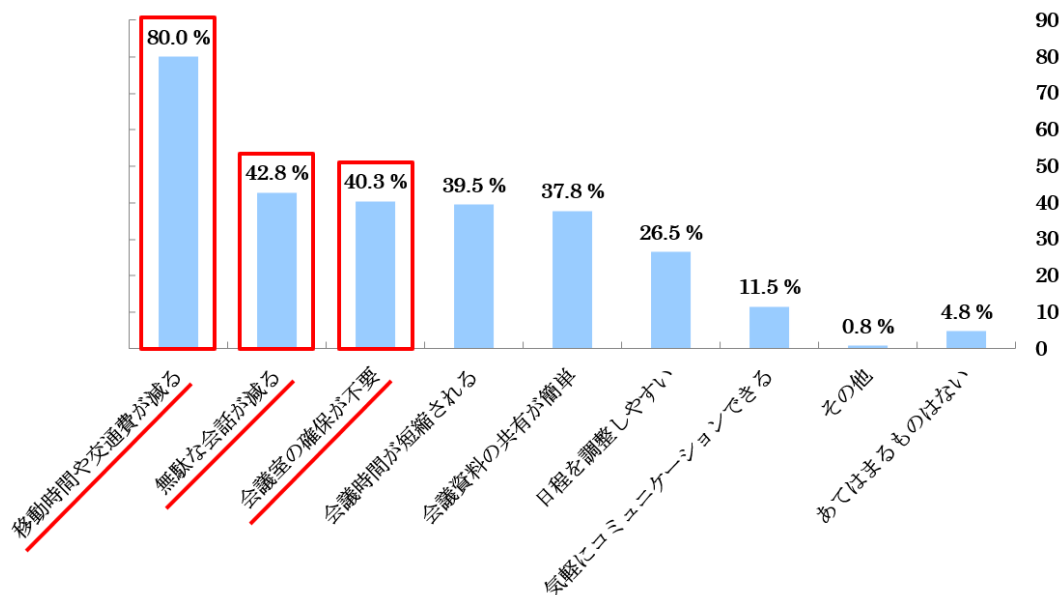
▼テレワークの導入により、影響を受けていると思う業務をお選びください。（複数回答 n=400）



テレワークの導入により、影響を受けている業務、第1位は「社内会議 (69.5%)」、第2位「社外会議 (49.8%)」、第3位「報告・相談 (37.8%)」という結果になりました。また、営業する機会や営業を受ける機会について、ともに7割以上の方が減ったと回答しています。ビデオ会議が浸透しつつあるものの、テレワークにより営業機会が減少していることが分かりました。

■約8割の人がビデオ会議の利点は「移動時間や交通費が減ること」だと考えている

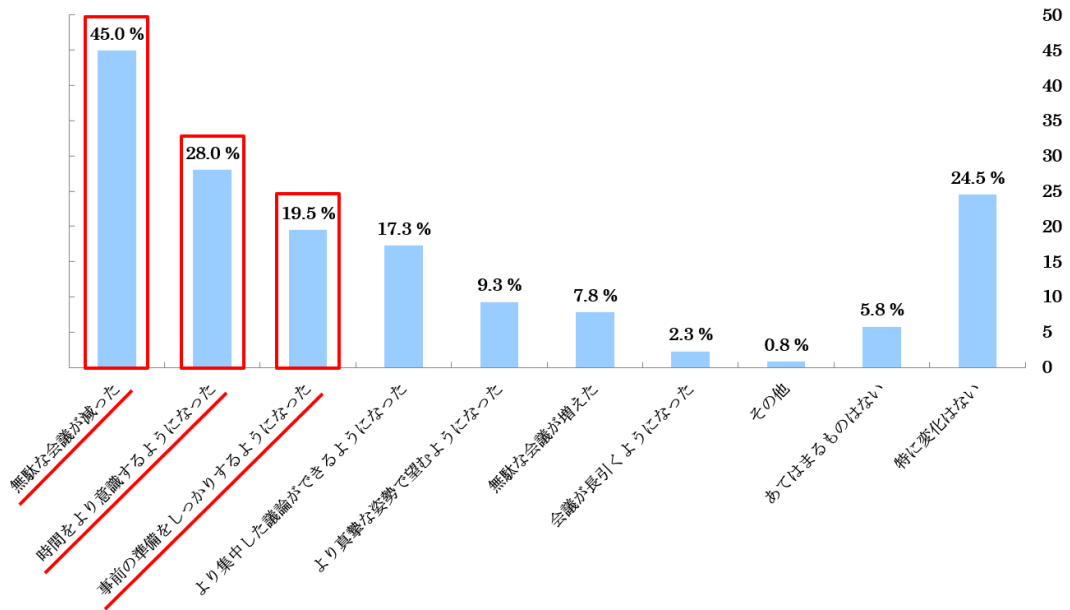
▼ビデオ会議にはどのような利点があると感じますか？ (複数回答 n=400)



ビデオ会議の利点として、第1位は「移動時間や交通費が減る (80.0%)」、第2位「無駄な会話が減る (42.8%)」、第3位「会議室の確保が不要 (40.3%)」といった時間短縮や手間の削減が上位にランクインしました。また、対面会議と比較してビデオ会議の方が、時間が短縮されると感じる人は約4割で、その短縮時間の平均は23.2分という結果になりました。

■ビデオ会議の普及は対面での会議にも良い影響を与えている

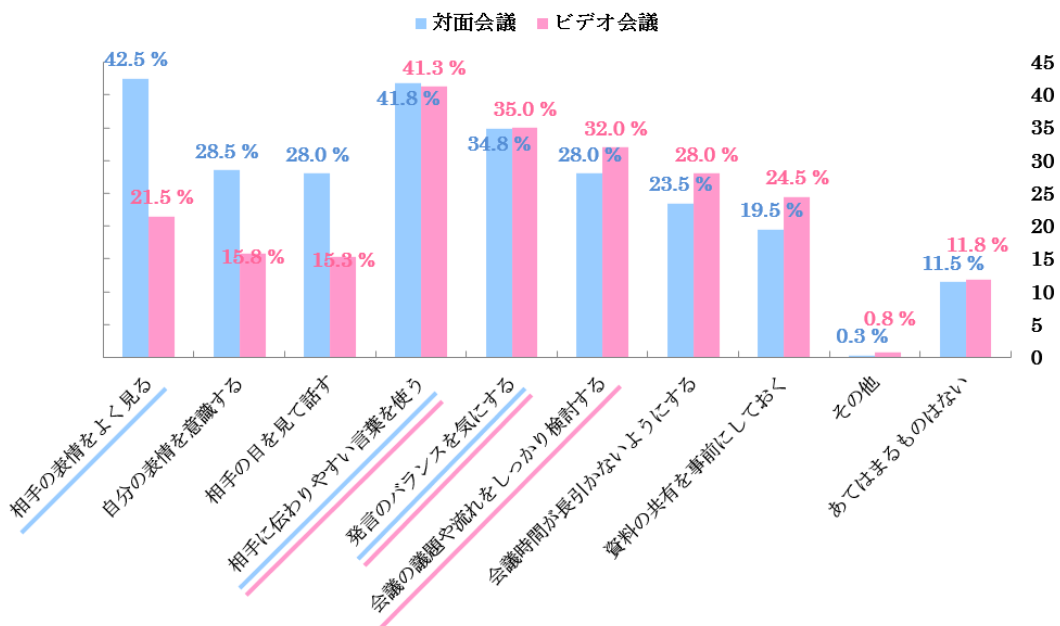
▼ビデオ会議が主流になる一方で、対面での会議に変化はありましたか？（複数回答 n=400）



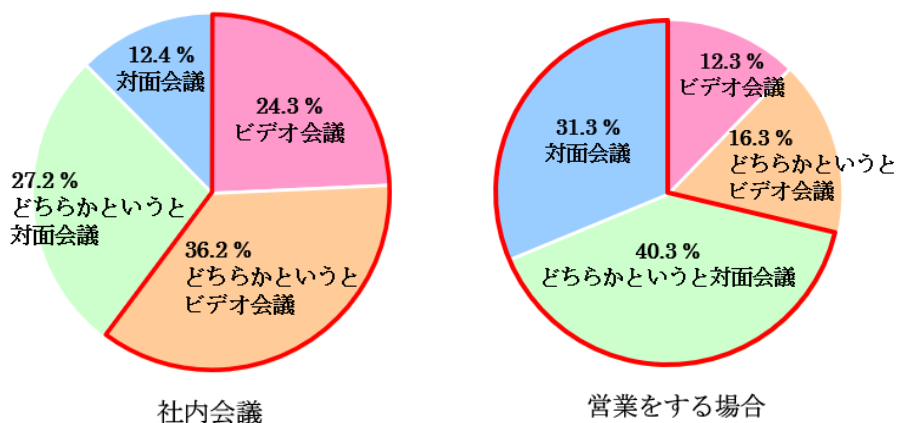
対面での会議の変化として、第1位「無駄な会議が減った（45.0）」、第2位「時間をより意識するようになった（28.0）」、第3位「事前の準備をしっかりとるようになった（19.5）」といった結果になりました。テレワークやビデオ会議の普及は対面での会議にも良い影響を与え、より時間を効率的に使えるということが分かりました。

■対面会議とビデオ会議では、重視するポイントが異なることが判明！

▼対面会議とビデオ会議で重視することはなんですか？（複数回答 n=400）

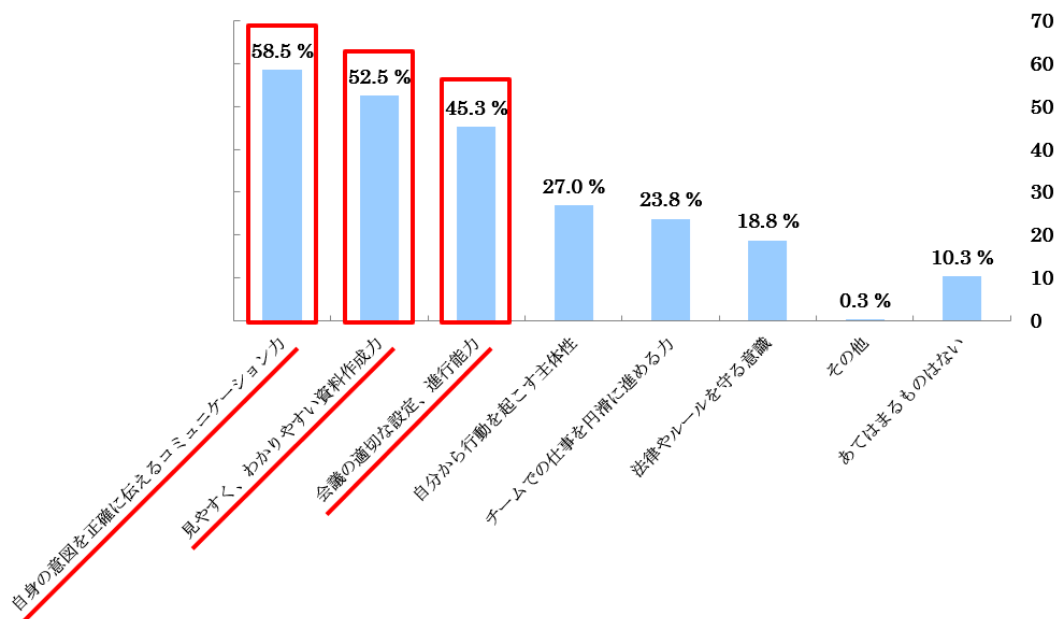


対面会議で重視することについて、第1位は「相手の表情をよく見る (42.5%)」、第2位「相手に伝わりやすい言葉を使う (41.8%)」、第3位「発言のバランスを気にする (34.8%)」。という結果になりました。一方、ビデオ会議 (オンラインミーティング) をするとき重視することの第1位は「相手に伝わりやすい言葉を使う (41.3%)」、第2位「発言のバランスを気にする (35.0%)」、第3位「会議の議題や流れをしっかりと検討する (32.0%)」と、それぞれ重視するポイントが異なることが明らかになりました。また、社内会議ではビデオ会議の方が効率的だと思っている人が半数以上を占め、社外会議で営業をする場合に関しては対面会議の方が効率的だと思っている人が約7割を占めていました。社内外において対面会議とビデオ会議の使い分けによってさらに業務効率化が図れることが分かりました。



**■約6割がニューノーマル時代に重視されるスキルは「自身の意図を正確に伝えるコミュニケーション力」と回答**

▼テレワークの導入により、今後どのようなビジネススキルが重要になると感じますか？ (複数回答 n=400)



ニューノーマル時代に重視されるスキル第1位は「自身の意図を正確に伝えるコミュニケーション力 (58.5%)」、第2位「見やすく、わかりやすい資料作成力 (52.5%)」、第3位「会議の適切な設定、進行能力 (45.3%)」という結果となり、ビデオ会議で重視される能力が上位にランクインしています。

今回の調査結果から、対面会議とビデオ会議では、それぞれ重視するポイントが異なることが分かりました。ニューノーマル時代においては、対面会議とビデオ会議の使い分けが重要になるのではないのでしょうか。

#### SB C&S が取り扱っているビデオ会議システムについて

SB C&S は、ビデオ会議のためのコミュニケーションツールやソリューションを幅広くラインアップしています。2020年3月からは、全世界で80万社以上の企業に採用されている「Zoom」を国内初の認定ディストリビューターとして取り扱いを開始しました。詳細はこちら (<https://www.it-ex.com/features/telework2020.html>) をご覧ください。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。